

- 問1 埼玉県にある稲荷山古墳からは、表面に文字が刻まれた金錯銘鉄剣が出土しました。この鉄剣に刻まれている「ワカタケル大王」という人物は、当時の中国の歴史書に記されている「倭の五王」のうちの誰を指すとされていますか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 珍 (ちん)                      2. 武 (ぶ)                      3. 興 (こう)                      4. 済 (せい)
- 問2 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 防人                      2. 御家人                      3. 遣隋使                      4. 渡来人
- 問3 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである                      2. 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである                      3. 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである                      4. 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである
- 問4 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。                      2. 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。                      3. 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。                      4. 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保証することで全国の武士を統制した。
- 問5 徳島県と香川県を結ぶ道路の建設予定地周辺など、四国地方においても複数の「前方後円墳」を含む古墳群が確認されています。このように、近畿地方を拠点とする勢力が採用した墓の形式が全国各地へ広まった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. 仏教の伝来により、古墳に代わって大規模な寺院が地方に建立され始めたこと                      2. 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと                      3. 遣唐使によってもたらされた国風文化が、地方の豪族の間で流行していたこと                      4. 多賀城を中心とした東北地方の勢力が、全国を統一する力を持っていたこと
- 問6 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 地頭                      2. 遣隋使                      3. 防人                      4. 渡来人
- 問7 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと                      2. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと                      3. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと                      4. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと
- 問8 大和政権の性格について、それ以前の弥生時代の社会状況と比較した説明として、最もふさわしいものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。                      2. 大陸からの渡来人によってもたらされた仏教と文字を政治の基盤として、中央集権的な国家を完成させた。                      3. 銅鐸を用いた共通の祭祀を通じて、各地の小国が独立性を保ったまま、利害関係のない経済圏を築いた。                      4. 特定の女王がまじないなどの呪術的な力を用いて、各地の小国を完全に服従させ、争いを根絶した。
- 問9 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれているとされる遺物はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 装飾が施された石包丁                      2. 近畿地方で多く見つかった銅鐸                      3. 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀                      4. 漢の皇帝から授けられたとされる金印
- 問10 5世紀中頃に造られた日本最大の面積を誇る大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）の所在地について、日本列島を4つの地域に分けたとき、この古墳が位置する場所を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 屋久島などの自然遺産がある、九州地方南端（鹿児島県付近）                      2. 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）                      3. 中尊寺金色堂などの文化遺産がある、東北地方（岩手県付近）                      4. 富士山が位置する、中部地方（静岡県付近）
- 問11 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。                      2. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。                      3. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。                      4. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。
- 問12 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため                      2. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため                      3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため                      4. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため
- 問13 古墳時代の文化において、古墳の頂上や周囲を囲むように並べられた、円筒の形や人間、家などの形を模した土製の焼き物を何といいいますか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 須恵器                      2. 土偶                      3. 銅鐸                      4. 埴輪